

## 平成 28 年度第 11 回石狩市厚田区地域協議会

【日 時】 平成 29 年 3 月 29 日（水） 18：30 ～ 19：30

【場 所】 みなくる

【出席者】 8 名（15 人中）

| 役 職 | 氏 名     | 出欠 | 役 職 | 氏 名     | 出欠 | 役 職 | 氏 名     | 出欠 |
|-----|---------|----|-----|---------|----|-----|---------|----|
| 会長  | 佐 藤 勝 彦 | ○  | 委員  | 小 山 玲 子 |    | 委員  | 中 井 健 太 |    |
| 副会長 | 渡 邊 教 円 | ○  | 委員  | 今 光 江   |    | 委員  | 平 賀 敏 和 | ○  |
| 委員  | 大 内 さつき | ○  | 委員  | 坂 本 悌 生 |    | 委員  | 前 田 和 也 | ○  |
| 委員  | 大 黒 利 勝 | ○  | 委員  | 柴 田 志寿子 |    | 委員  | 築 田 敏 彦 |    |
| 委員  | 小笠原 英 史 | ○  | 委員  | 柴 田 肇   | ○  | 委員  | 吉 田 美 香 |    |

※正副会長を除き、あいうえお順

本 庁 ～ 渉外調整担当 松田部長・吉田アドバイザー

支 所 ～ 西田支所長・田村生涯学習課長（兼市民福祉課長）・沼倉隊員

事務局 ～ 高田地域振興課長・相原主幹・渡部主査・佐藤主査・中村主任  
(地域振興課)

【傍聴者】 0 名

- 【次 第】
1. 開会
  2. 会長あいさつ
  3. 報告事項
    - （1）厚田区に係る新年度予算（主要部分）について
    - （2）厚田区地域おこし協力隊の着任について
  4. その他
  5. 次回の日程について
  6. 閉会

## 1. 開会

### 【（厚）地域振興課 高田課長】

皆さんお晩でございます。第11回の協議会を始める前に、今日は小山委員、今委員、坂本委員、柴田志津子委員、中井委員、吉田委員、築田委員の7名から欠席の連絡を受けておりますので、報告させていただきます。それでは、第11回厚田区地域協議会を開催致します。佐藤会長、開会のご挨拶をお願いします。

## 2. 会長あいさつ

### 【佐藤会長】

お晩でございます。

本日は、平成28年度の最後の地域協議会を開催するにあたり、一言だけご挨拶させていただきます。

先日、石狩市社会福祉協議会の研修会および情報交換会が開催されまして、町内会など17の団体が出席し、そこで課題として挙げたのが人口減少と少子高齢化でした。団塊の世代と言われている人達が75歳以上になるのは、2025年頃と言われており石狩市ではこの頃には、75歳以上の人口は約11,600人と見込まれています。現在は約6,500人ですから、7年後には倍増する形となり、一方で少子化時代ですから、高齢者を支援する人が少なくなります。問題は、要介護認定が3以上でないと、施設に入所することが出来ませんから、それ以外の人に対する支援は家庭が中心になります。支援できる人数に対して支援が必要になる人の割合が多くなり、2025年問題と言われていますが、その時になってから慌てて厚田の地域でどうしようかと考えてもちょっと遅すぎる、ということがありますから、今から考えて行かないといけない、という大きな課題があります。このような課題を考えるのが、実は地域協議会でありまして、役所からの支援も受けながら地域で動いていく、ということでもあります。

まず、団塊の世代の関係もあり75歳以上になる方が短期間で非常に増えることや、支援できる人数が減少すること、そしてもう一つあります。例えば花川地区のように人口がある程度密集している地域ですと、コミュニティが作り易く、見守りや何らかの活動をする際に、その場所に歩いて行けますが、厚田や浜益はそのようにはなりません。何か建物を建ててもそこまで歩いて行ける人が限られる。要するに交通手段に起因する問題がありますので、例えば買物などの生活に直接関係することに対しての支援が必要になってきます。物理的な要因によって、支援の形が変わってきますので、花川で考えていることと、厚田で考えるべきことは違ってきます。ですから、こういうことを私たち地域協議会で考えるべき重要な課題だと思いますので、ちょっと時間を頂いてお話させていただきました。

## 3. 報告事項

### 【佐藤会長】

それでは報告事項に入らせて頂きます。よろしくお願いします。

### 厚田区に関係する新年度予算（主要部分）について

#### 【（厚）地域振興課 相原主幹】

皆さんお晩でございます。

先週閉会しました第1回定例議会で議決された新年度予算の内、市のホームページでも公開されていますが、主要な施策の中で厚田区に関するものについて資料を別添でご用意していますので、新規の部分についてご説明させていただきます。

まず、望来川沿いの法面工事ということで、望来川の改修が予算化されています。それから、厚田4号橋、五の沢橋の改修。そして、新規ではありませんが、防災行政無線の厚田区にあるアナログのアンテナをデジタル化する10箇所の整備が予算化されています。これについては、津波について北海道から公表がありまして、従来の想定から変わっている部分がありますので、地区防災計画の再編等も考えられています。

続きまして、住環境の部分ですが、所得制限がありますが、新婚生活の方に対する転入促進対策として住居費や引越し費用を助成する事業が予算化されています。

産業の部分ですが、現在建設が進められている道の駅に関連するものが多く、例えば厚田公園周辺のフットパスなどが予算化されています。

教育の部分ですが、（仮称）厚田小中学校の整備や、プールの建設などが予算化されています。

また、道の駅とも関連しますが厚田学・浜益学ということで歴史や文化、そして自然の魅力などの講座を開設して理解を深めようという事業も予定されています。また、トレイルランニングが濃昼山道でこれまで開催されていましたが、コース設定やガイド育成、そして地域でのおもてなしを進めようという事業も予定されています。

また、地域自治区振興事業として2つありまして、地域おこし協力隊活動事業と、あつたアクアレーン実行

委員会の厚田水彩画展芸術文化振興事業が厚田区で推進される事業として議会で議決されています。

【佐藤会長】

厚田区に関する予算についてご説明がありましたが、何かご質問などありますでしょうか。  
無いようですので、次の報告事項についてお願いします。

**厚田区地域おこし協力隊の着任について**

【（厚）地域振興課 相原主幹】

それでは、厚田区地域おこし協力隊の着任についてご報告致します。

これまででもご報告していた新しい地域おこし協力隊について、この度正式に決定し、昨日の広報等の配布に合わせて回覧でもお知らせしていますが、男性が二人、新たに地域おこし協力隊として着任しますので、経歴などご紹介させていただきます。

1人目は野呂典嗣（ノロ ノツグ）さんという方で25歳。札幌市からの転入となります。以前、えりすいしかりネットテレビに勤務経験があり、“食”に対して興味を強く持っており、情報発信などの分野で力を発揮したいと言っていました。

2人目は今野博之さんという方で40歳。帯広からの転入となります。大学では音楽を専攻しており、卒業後はオペラ歌手や舞台人などの経歴を豊富にお持ちで、音楽関係や舞台などのネットワークがあり色々面白いことが期待されるのかな、と思っています。

お二人とも、本来4月1日着任の予定でしたが、業務の引継ぎ等がありまして5月1日着任を予定しています。皆様におかれまして、これまで通りお声掛けやお誘いをして頂き、暖かい受け入れをお願いします。

【佐藤会長】

何かご質問などありますでしょうか。  
無いようですので、その他についてお願いします。

4. その他

【（厚）地域振興課 相原主幹】

3月16日付けの北海道新聞石狩版に記事が掲載されていましたが、石狩市厚田区の古潭出身の及川正一氏の創業した正栄機工株式会社（札幌市）が、この3月に創業50周年を迎えられました。50周年を迎えるにあたり、自分の出身地である厚田に何か恩返ししたい、という希望を持っていました。実は、及川さんは昨年の6月に亡くなりましたが、会社として創業者の希望を叶えたい、とのことでこの度石狩市に200万の寄附を頂戴しています。この寄附にあたって厚田区の振興に使って下さい、とのご意思がありましたので、自治連合会などを通じて地域で活用していくことを考えています。

【佐藤会長】

それでは、2点目についてお願いします。

【（厚）地域振興課 相原主幹】

本年度をもって任期を終える沼倉隊員から皆様に一言ご挨拶がありますので、よろしくお願いします。

【地域おこし協力隊 沼倉隊員】

先日は私の活動報告会にお越し頂きまして、本当にありがとうございました。

入口で皆さんをお迎えさせて頂きましたが、顔馴染みの方々ばかりで、それぞれに話したいことが沢山こみ上げてきました。そういう関係性を厚田で築けたことが、この3年間で私の一番の成果だったと思っています。

3年前からこの協議会に参加させて頂きましたが、最初の内は正直な所、緊張の場でしたが、協議会で色々な厚田の課題や、イベント等での出来事を皆さんと共有させて頂いたことで、共通の話題が出来て、皆さんともっとお話をしたい、との思いが強くなりました。今では協議会は厚田の課題を話し合う場ではありますが、私にとっては皆さんに会える場所でもあり、いつも楽しみにしていました。

これからこの場に参加出来なくなり、ちょっと寂しい気持ですが、このような気持が芽生えたもの、3年前から協議会や検討委員会で協力隊をどのように受け入れていくか、ということを皆さんで一生懸命考えて頂いたからこそ、と思っています。協力隊としては退任しますが、今度は厚田の一員としてまちづくりに参加していきたい、と思っています。これからも気軽に声掛けして頂ければと思っていますので、今後どうかよろしくお願いします。本当にありがとうございました。

＊上記の他に事務局より下記内容について紹介。

(1) 4月1日付け人事異動における厚田支所の関係者について

(2) とっておき石狩（道の駅OPENに関連する厚田・浜益の観光案内パンフレット）について

#### 5. 次回会議等の日程について

平成29年 月 日（火曜日 保健センター）

#### 6. 閉会

平成29年4月25日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長 佐藤 勝彦